大阪ガスのお問い合わせ先

＜お客さまセンター＞

■大阪リビング営業部	〒５５０－００２３	大阪市西区千代崎３丁目南２－３７	電話　０１２０－０－９４８１７
■南部リビング営業部	〒５９８－００４７	泉佐野市りんくう往来南２－２	電話　０１２０－３－９４８１７
■北東部リビング営業部	〒５６９－８５６９	高槻市藤の里町３９－６	電話　０１２０－５－９４８１７
■兵庫リビング営業部	〒６５０－００４４	神戸市中央区東川崎町１丁目８－２	電話　０１２０－７－９４８１７
■京滋リビング営業部	〒６００－８８１５	京都市下京区中堂寺粟田町９３	電話　０１２０－８－９４８１７

お電話のおかけ間違いのないよう、お願いいたします。
（所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）

大阪ガス株式会社

お　ね　が　い

ガスくさいときはお部屋の元栓を閉め、窓を全開にしてから（火気に注意して）
大阪ガスにご連絡ください。

734T0808RD

ガスふろ給湯器

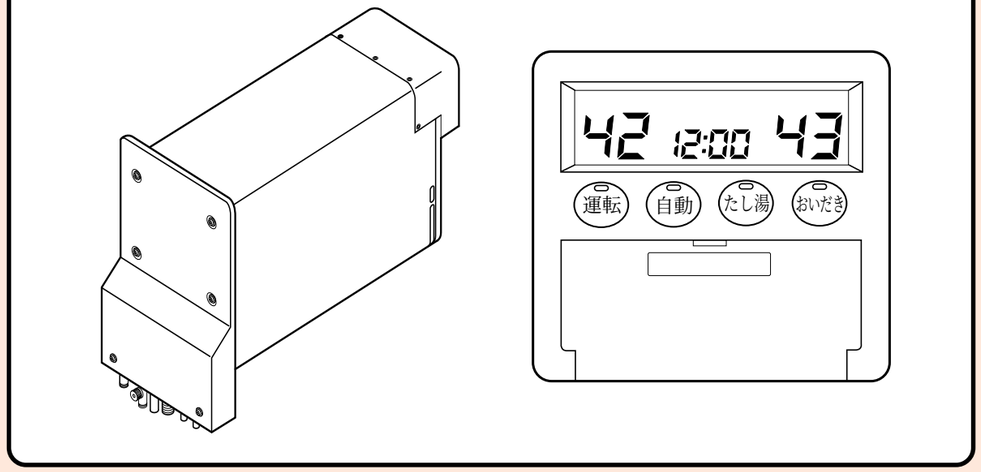
パックイン

外壁貫通設置形

１３１-７０７９型
１３１-７０８９型

型式名　ＷＦ－１６１１ＡＴ
ＷＦ－１６１１ＡＴＬ－３

取扱説明書



ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへお問い合わせください。

大阪ガス

特長・機能の紹介

1 スイッチポンでおふろが沸かせます。

ふたをして 自動 スイッチを押せば、あらかじめ決めておいたお好みの湯温と湯量でお湯はりができます。

自動 スイッチを押してから約４時間以内なら、お湯がさめれば自動で保温し、お湯が減れば自動で足し湯します。

2 お好みの給湯温度でお湯が使えます。

リモコンで設定した温度でお湯が出ます。約 37℃～60℃まで設定できます。

目　次

●特に注意していただきたいこと　・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1～7
●各部の名まえとはたらき　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8～10
●使用方法
・初めてお使いいただくときは　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
・時計時刻の合わせかた　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
・節電機能（リモコンの表示を消したい）・・・・・・・・・・・・・・・ 13
・お湯の出しかた（リモコンでの操作）・・・・・・・・・・・・・・ 14～15
・自動運転（おふろの自動お湯はりをしたい）・・・・・・・・・・ 16～18
・おいだき運転（おふろのおいだき・沸かし直しをしたい）・・・・・ 19
・足し湯運転（おふろのお湯の量を増やしたい）・・・・・・・・・・・ 20
・ぬるく運転（おふろのお湯を少しぬるくしたい）・・・・・・・・・・ 21
・かま洗浄運転（ふろ釜内の残り湯を排出したい）・・・・・・・・・・ 22
・タイマー機能（時間を計りたい）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
・自動運転予約（予約した時刻におふろを沸かしたい）・・・・・ 24～25
●機器内部の凍結予防方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26～27
●点検・お手入れ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28～29
●故障かな？と思ったら　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30～32
●長期間使用しない場合　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
●寸法図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
●仕　様　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
●アフターサービスについて　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36

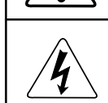
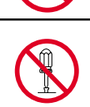
特に注意していただきたいこと

■機器を安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書では、お客様や近隣の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために説明文及び製品の表示では、いろいろな絵表示をしています。表示と意味は次のようになっています。内容をよくご確認してから本文をお読みください。

注意表示	意　味
⚠ 危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、及び物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

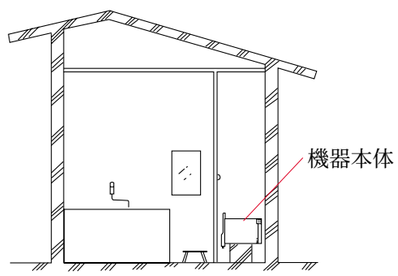
絵表示には次のような意味があります。

絵表示	意　味	絵表示	意　味	絵表示	意　味
	一般的な注意事項		一般的な禁止事項		必ず行なう事項
	感電注意		分解禁止		アース接続確認
	高温注意		火気厳禁		電源プラグを抜く
	発火注意		接触禁止		ぬれた手の接触禁止

⚠ 危険

■機器の設置

●この機器は、屋外用（外壁貫通タイプ）ですので絶対に屋内に設置しないでください。不完全燃焼を起こし大変危険です。



禁　止

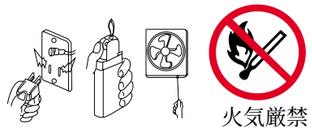
⚠ 危険

■ガス漏れに気づいたとき

●すぐに使用をやめてガス元栓を閉じる。また、メーターガス栓も閉じ、窓や戸を開けてお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

●お買い求めの販売店や大阪ガスの係員が処置するまでは絶対にマッチやライター等の使用や、電源プラグの抜き差しや、近くの電気機器（換気扇など）の「入」「切」や周辺の電話を使用しないでください。
ガス爆発の恐れがあります。

［ガス栓の例］



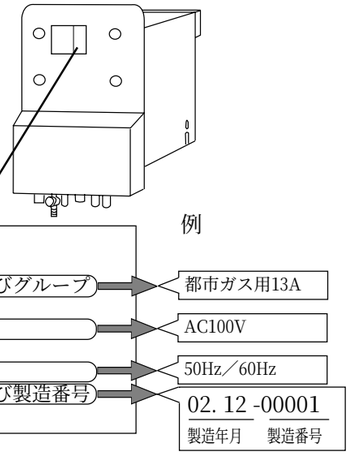
⚠ 警告

■使用ガスの種類及び使用電源の確認

●機器の銘板に表示してあるガス種及び電源（電圧・周波数）を確かめてください。表示のガス種及び電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。

●ガスの種類には、都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスには、さらにガスグループの区分があります。

●転居されたときも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。
分からない場合はお買い上げの販売店またはもよりのガス事業者に連絡してください。

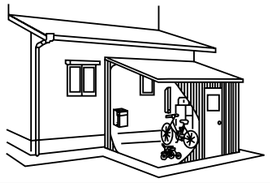


■設置場所について

●機器の設置・移動及び付帯工事はお買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置してご使用ください。

●設置場所によっては、近隣の家と騒音によるトラブルが生じることがありますので十分配慮して設置してください。

●この機器は外壁貫通タイプの屋外設置型ですので、増改築などによって、屋内状態にしないでください。また、波板やビニール、塗装時に使用した養生シートなどによって、囲いをすることもおやめください。



禁　止

■ガス接続

●この機器はねじ接続です。ガス接続工事はお買い求めの販売店またはガス事業者に依頼してください。

■使用中の外出、就寝禁止

●火をつけたまま就寝や外出は絶対にしないでください。火災の原因になります。

■ソーラー接続禁止

●この機器をソーラーシステムに接続しないでください。ご希望の温度より高いお湯が出てやけどをするおそれがあります。

⚠ 警告

■火災予防

●排気口の上や周囲には紙や木材など燃えやすいものを置かないでください。

●機器や給排気口の周囲ではスプレー、ガソリン、ベンジンなど引火の恐れのあるものを置いたり使用しないでください。
引火して火災の恐れがあります。

●機器及び排気トップの周囲にスプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを置かないでください。
熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発する恐れがあります。

発火注意

■やけどに注意

●シャワーなどお湯を使用するときは、最初に熱いお湯が出ることがあります。手のひらで湯温を確認して湯温が安定してから使用してください。
やけどのおそれがあります。

●入浴時には必ず手で湯温を確認してから入浴してください。おいだき中やおいだき後は浴槽の上部と下部で湯温に差がある場合があります。十分にかきまぜてから手で湯温を確認してください。
やけどのおそれがあります。

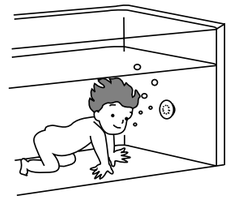
●おふろ沸かし時やおいだき時は、循環アダプタ付近は熱くなりますので循環アダプタの下の吐出口に手や体を近づけないように注意してください。

高温注意

■子供に対する注意

●浴そうの循環アダプタの付近で水に潜ったりしないでください。
思わぬ事故の原因になります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●子供を浴室で遊ばせないようにしてください。
浴そうに落ちますと思わぬ事故につながることがあります。



禁　止

■異常時の処置

●点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、機器が使用途中で消火してしまった場合はただちに使用を中止しガス元栓を閉めて30〜32ページの「故障かな？と思ったら」の項にしたがって処置をしてください。処置をしても直らない場合は、使用を中止しお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスへ連絡してください。

●地震、火災などの緊急の場合はただちに使用を中止し、ガス栓及び給水元栓を閉じてください。

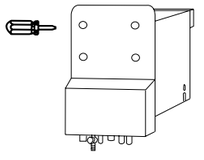
［ガス栓の例］

［給水元栓の例］

■分解禁止

●修理・改造は高度な専門知識が必要です。お客さまご自身で工具を使用して分解したり修理・改造は絶対に行わないでください。
思わぬ事故や故障の原因となります。

分解禁止



⚠ 警 告

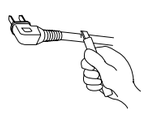
■機器本体に無理な力を加えない

●機器本体やガスの接続口、給排気口などに乗らないでください。
けがや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

禁　止

■電気事故の防止

●電源コードを切断して延長しないでください。
電源コードが届く範囲としてください。感電や火災などの原因となります。



禁　止

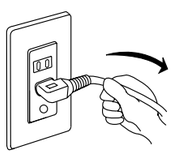
●電源プラグは根元まで完全に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。痛んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使わないでください。

●電源プラグのほこりなどは定期的に取ってください。電源プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

●ぬれた手でコンセントの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。

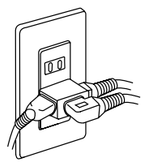
ぬれた手の接触禁止

●電源コードを引っぱって電源プラグを抜かないでください。電源コードを引っぱると破損して感電や火災の原因になります。



禁　止

●コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



禁　止

⚠ 注 意

■シャワーセット使用時のご注意

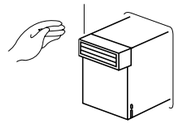
●高温で使用中は、水栓本体が熱くなりますので注意してください。
やけどの恐れがあります。

●高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には熱い湯が出る恐れがありますので安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。

高温注意

■やけどにご注意

●使用中および使用直後は、機器の排気口や本体は高温になっていますので絶対に手を触れないでください。
特に、小さなお子様がいる家庭では、注意してください。



接触禁止

■給排気筒トップに指や棒を入れない

●給排気筒トップに指や棒を入れないでください。
故障やけがの原因となります。

■用途について

●この機器は、給湯・シャワー・おいだき以外の用途には使用しないでください。
思わぬ故障の原因になります。

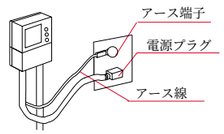
■運転停止（消火）時のご注意

●燃焼中に電源プラグを抜いて消火しないでください。
機器の故障の恐れがあります。

■電気事故防止

●アース線をアース端子に取付けてください。
感電する恐れがあります。

アース接続



■乾電池に関するご注意（お願い）

●乾電池を使用しているガス機器を大型ゴミなどで廃棄される場合は、必ず乾電池を取り外してください。
そのままにしておきますと思わぬ事故になることがあります。

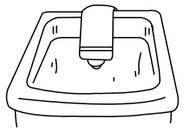
お 願 い

■ガス事故防止
●機器使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

■業務用としての使用禁止
●この機器は一般家庭用です。業務用には使用しないでください。いちじるしく製品の寿命が縮まります。

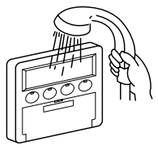
■入浴時のご注意
●浴そう内の循環口をタオルなどで塞ぐと、循環不良となり、おふろの沸かし上げができません。また、タオルの糸くずが機器に吸い込まれて、故障の原因になることがあります。

禁　止



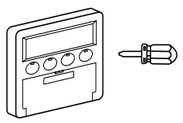
■リモコンの掃除
●リモコンは、防水タイプになっていますが、入浴中や、清掃などで故意に水をかけるとリモコン操作ができなくなることがあります。清掃については2 8 ページの「点検・お手入れ」にしたがっておこなってください。

禁　止



■リモコンの分解禁止
●リモコンは分解しないでください。

分解禁止



■飲用についてのご注意
●しばらく使わなかったとき、はじめにでてくる水は飲んだり調理に用いないでください。

■入浴剤や洗剤の使用について
●硫黄、酸、アルカリを含んだ入浴剤及び洗剤は、熱交換器が腐食したり駆動部を磨耗させる原因となるものがありますので、入浴剤等のご注意文を十分ご参照ください。

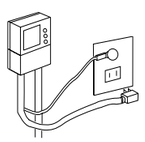
■井戸水、地下水、温泉水使用時のご注意
●水質によっては本体内の配管内部に異物が付着し、故障することがあります。その場合は保証期間内でも修理は有料となります。

■断水時のご注意
●断水時には運転を停止し、給湯栓を閉じてください。給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。
●断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管内にとどまることがあります。復帰した後、お使いはじめのお湯は飲用や調理用などには用いないでください。
●断水復帰後は、蛇口から十分水を流してからご使用ください。

■電気事故防止
●電源プラグ（漏電ブレーカー付）は、必ず浴室外に設けたアース端子付のコンセントに確実に差し込んでください。
●お手入れの際、長期間使用しない場合、および凍結予防のため水抜きを行う時以外は電源プラグを抜かないでください。

■雷が発生しているとき
●雷が発生しはじめたら、すみやかに使用を中止して電源プラグ（漏電ブレーカー付）をコンセントから抜いてください。
　機器の故障の恐れがあります。
再設定については、11ページの　「初めてお使いいただくときは」にしたがっておこなってください。

電源プラグを抜く



お 願 い

■通水使用の禁止
●運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。
機器内通水部分の結露により、機器の寿命が短くなります。

■積雪時の注意
●積雪で排気口が塞がれているようなときは、故障の原因になりますので使用を控えてください。

■長期間使用しない場合
●長期間使用しない場合は、凍結および万一のガス漏れを防止するため、33ページの「長期間使用しない場合」にしたがって処置をしてください。

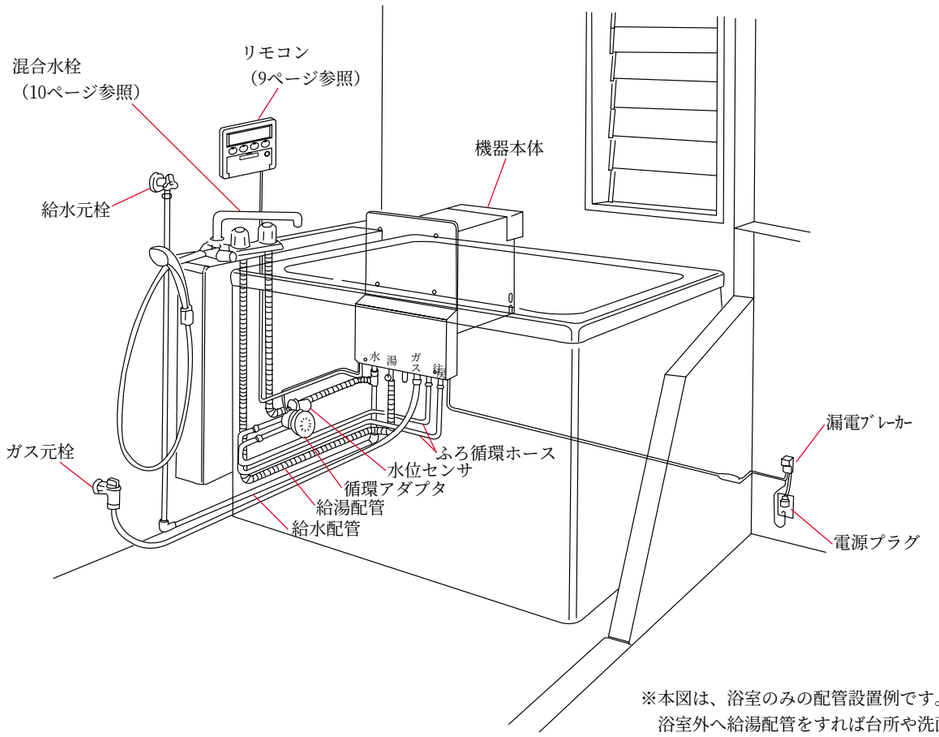
■停電のとき
●この機器は、電気で作動しますので停電中は使用できません。
●停電中は全ての動作を停止します。この場合は蛇口からのお湯は水になりますので、停電復帰まで給湯栓を閉めてください。
●停電復帰後も自動的に運転されませんので、11～25ページの「使用方法」にしたがって操作してください。

■機器内部の凍結予防について
●機器内部の凍結予防は、26～27ページの「機器内部の凍結予防方法」にしたがって予防処置をしてください。凍結すると、水漏れや故障の原因になります。

■市販の補助用具使用について
●この機器の付属品･純正部品以外は使わないでください。
　機器の異常の原因になることがあります。

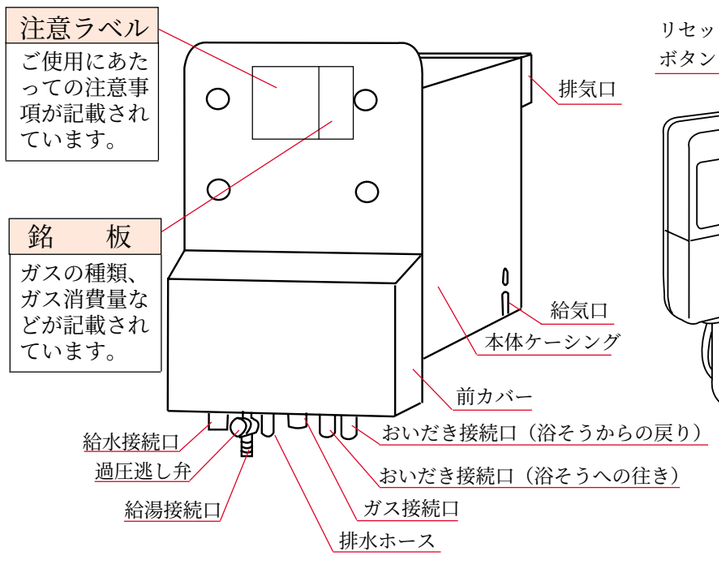
各部の名まえとはたらき

■標準設置例

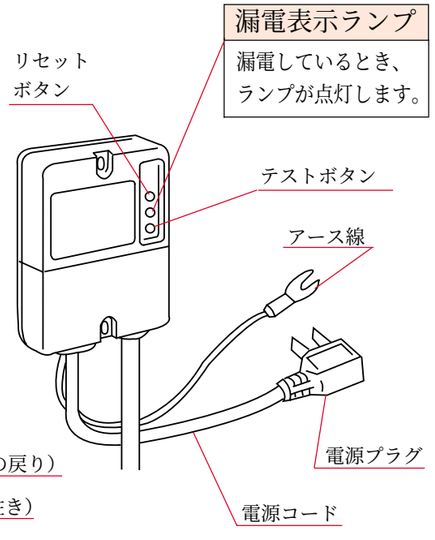


※本図は、浴室のみの配管設置例です。
浴室外へ給湯配管をすれば台所や洗面所等でもお湯が使用できます。

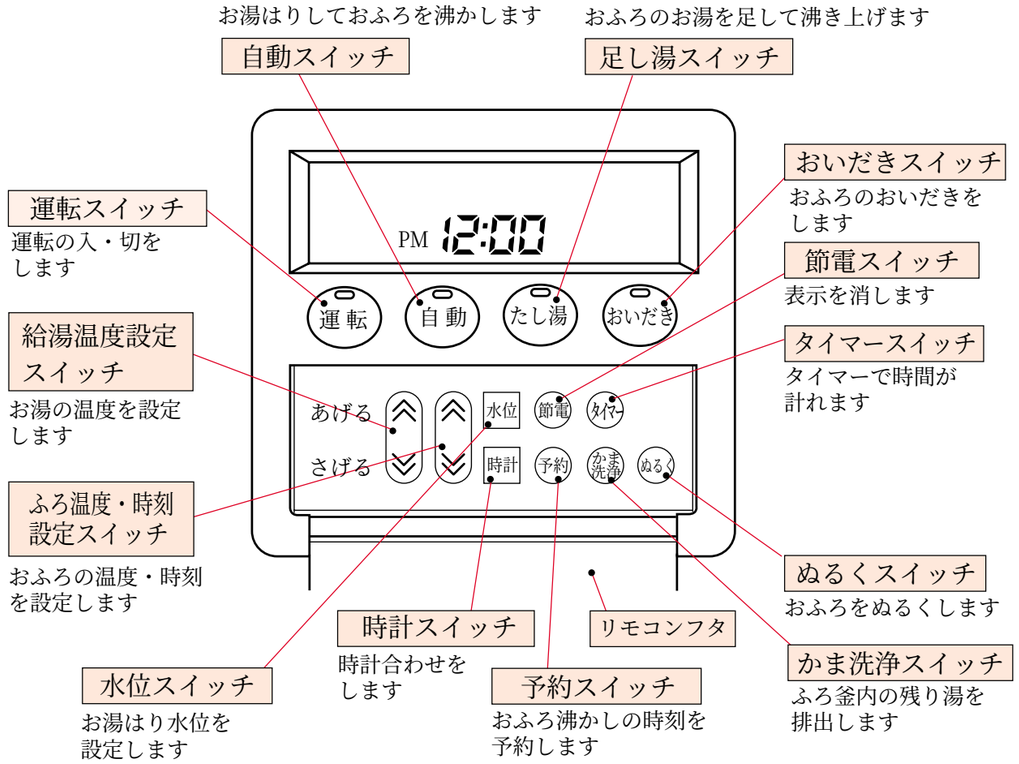
■本体

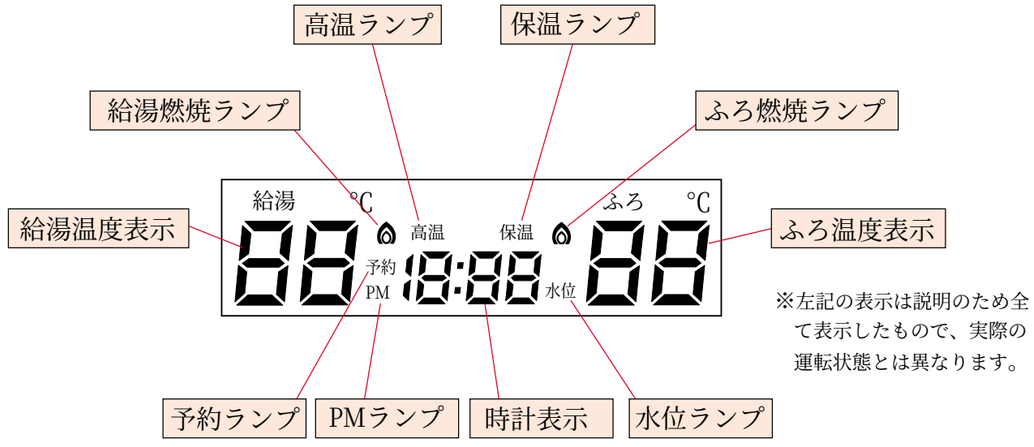


■漏電ブレーカー



■リモコン





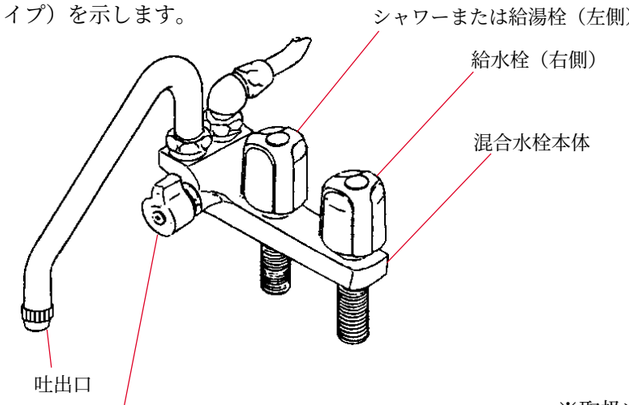
※左記の表示は説明のため全て表示したもので、実際の運転状態とは異なります。

リモコン使用上の注意点

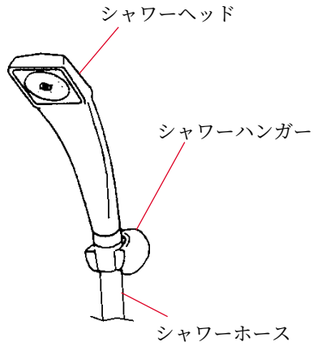
- スイッチを押すと、操作音（ピッ）がしてランプの表示が切り替わりますが、手速いスイッチ操作をすると、スイッチが受けつけられないことがあります。
  しっかりと、スイッチを押して、ランプの表示が切り替わることを確認してください。
- リモコンフタは開けたままにせず、閉じた状態でご使用ください。

■専用混合水栓（別売部品 ｼｬﾜｰｾｯﾄ J-157-0401,0402 ）

本図は、J-157-0401
(左タイプ）を示します。



切換ハンドル
右に回すと吐出口から吐水し、左に回すとシャワーから吐水します



※取扱い及び取付けについては、専用混合水栓（ｼｬﾜｰｾｯﾄ）に同梱の取扱・設置説明書をお読みください。

使用方法　初めてお使いいただくときは

使用前の確認

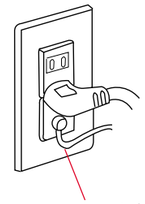
初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1．給水元栓をいっぱいに開けます。

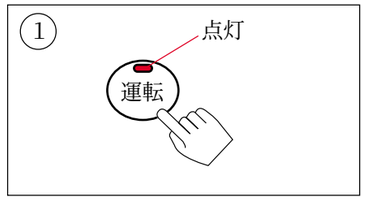
2．シャワーまたは給湯栓を開けて水が出ることを確認してください。

3．ガス栓を全開にします。

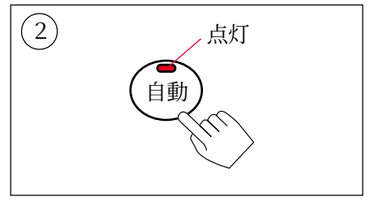
4．電源プラグ（漏電ブレーカー付）を根元まで
確実にコンセントに差し込みます。
アース線をアース端子に取付けてください。



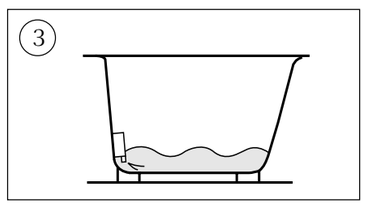
5．ポンプの呼び水をします。
（リモコンで操作）



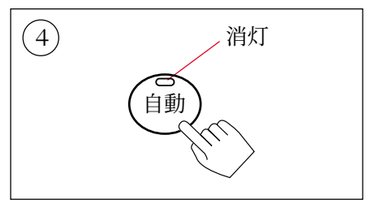
運転スイッチを押す。
「運転ランプ」が点灯します。



自動スイッチを押す。
「自動ランプ」が点灯します。



浴そうの循環アダプタからお湯が充分に出てくることを確認します。



自動スイッチを押す。
「自動ランプ」が消灯します。

111 が点滅したら

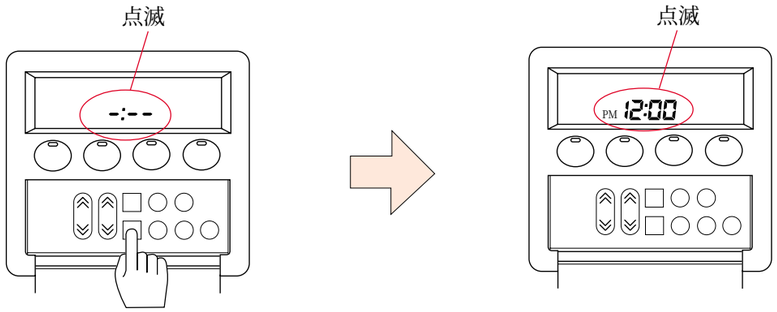
●はじめてご使用になるときなどは、ガス配管中に空気が残っていて点火しないことがあります。
この場合、リモコンの「運転ランプ」が点滅し、さらに時計表示部にエラーコード 111 が点滅し給湯不着火をお知らせします。
このような場合は、いったんシャワーまたは給湯栓を閉じ、運転 スイッチを押してエラーを解除し、再度 運転スイッチを押し、シャワーまたは給湯栓を開ける操作を、２～３回繰り返してください。

使用方法　時計時刻の合わせ方

現在時刻の合わせ方

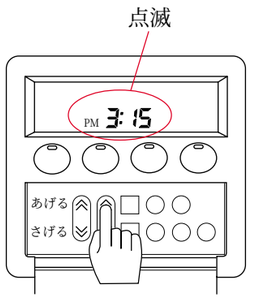
1．[時計]　スイッチを押します。

●時計表示が点滅します。初回設定時は、「PM 12 : 00」が点滅表示します。
（例、電源投入時、または停電復帰時は、「－：－－」点滅表示になっています。）



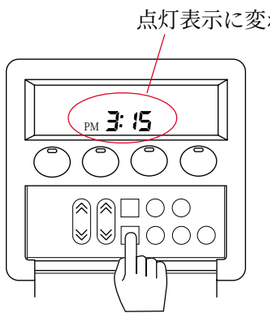
2．「ふろ・時刻」設定スイッチを押し、現在時刻を設定します。

●押す度に、１分ずつ変わります。
●押し続けると、１０分ずつ早送りできます。
（例、PM3時15分にセットする場合）



3．もう一度、[時計]　スイッチを押します。

●点滅が、点灯表示に変わり、時刻設定が完了します。



⚠ 時刻設定をしてください

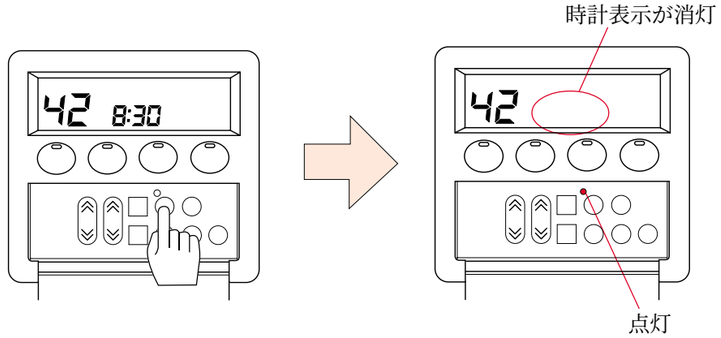
●現在時刻の設定がされていないと、「自動運転予約」機能は動作しません。

使用方法　節電機能・・・リモコンの表示を消したい

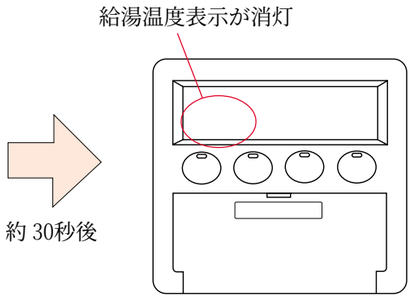
使用方法

1．(節電)　スイッチを押します。

●「節電ランプ」が点灯します。
●同時に、時計表示が消灯します。



2．約 30秒後に、給湯温度表示が消灯します。

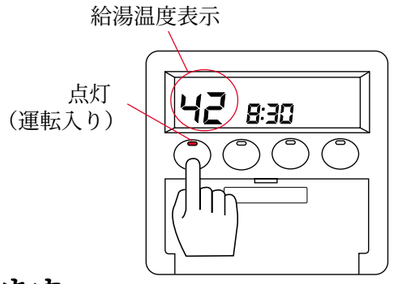


⚠ 節電機能ご使用上の注意点

●(運転) スイッチ「入・切」に関係無く使用できます。
●下記の使用状態のときは安全のため、一時的に給湯温度表示を復帰し点灯します。
　・台所やシャワーなどで給湯をご使用のとき。
　・給湯温度設定が変更されたとき。
●ふろ温度表示の節電消灯は、行いません。
●節電動作中でも、運転ランプ・燃焼ランプ・高温・保温などのランプは消灯しません。

使用方法　お湯の出しかた・・・リモコンでの操作

お湯を使いたい　器具運転開始



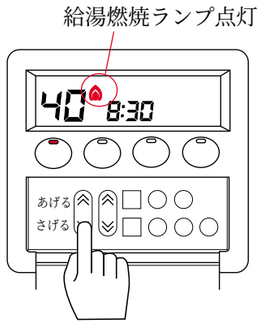
1．運転　スイッチを押します。

●「運転ランプ」が点灯します。
●給湯温度が表示されます。

2．給湯温度設定スイッチで湯温を調節します。

（一度設定すると記憶します）

●給湯温度の表示は目安ですが、37～50℃、60℃の15段階に設定できます。（37～50℃間は、1℃きざみ）
●スイッチは１回押すたびに、１段階ずつ調節できますが、スイッチを押しつづけると45℃までは速く動きます。
●電源投入時または停電復帰後は、42℃となっています
●60℃に設定すると、「高温ランプ」が点灯します



（例：42℃ → 40℃）

3．シャワーまたは給湯栓を開けます。

●燃焼を開始し、「給湯燃焼ランプ」が点灯します。
●しばらくしてお湯が出ます。
（お湯が出るまでの時間は、配管長さによって変わります。）

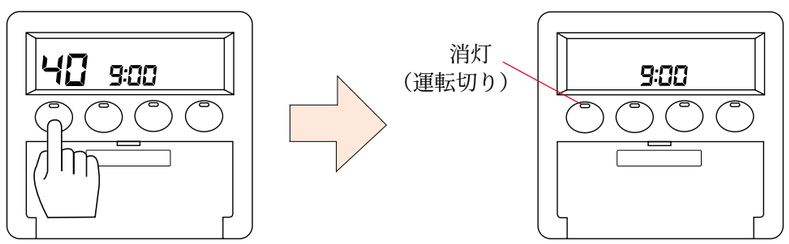
シャワー・給湯停止　器具運転停止

1．シャワーまたは給湯栓を閉めます。

●燃焼が止まり、「給湯燃焼ランプ」が消灯します。
（再度、シャワー栓または給湯栓を開けるとお湯が出ます。）

2．もう一度運転　スイッチを押します。

●リモコンの「運転ランプ」「給湯温度表示」が消えます。

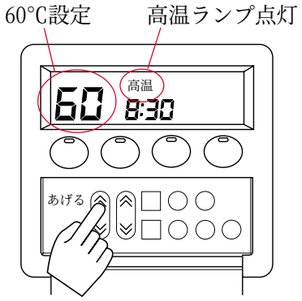


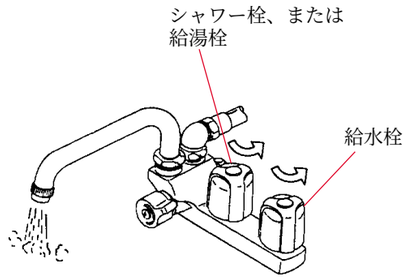
シャワーの湯量が少ないとき（低給水圧）

●給水圧力が低く、給湯栓を全開にしても十分な湯量が得られない場合は、専用の混合水栓で湯と水を混合して使用することをおすすめします。この場合、スイッチで湯温を60℃に設定して使われることをおすすめします。

●湯と水を混合して使用する場合、湯温調節がしづらい場合があります。この場合、給湯栓は全開で固定し、水の量で湯温を調節すると比較的易しく操作できます。

● 60℃設定にすると、「高温ランプ」が点灯します。





やけどに注意

■やけどに注意
●湯温を確認してから使用してください。
■混合水栓使用時のご注意
●高温で使用中は水栓本体が熱くなりますので注意してください。
●高温で使用した後、またすぐに出湯する場合には熱い湯がでる恐れがありますので安全のため水を混ぜて残り湯を流してください。

運転を再開する場合

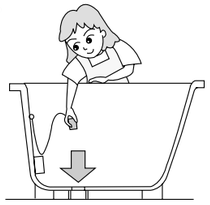
●運転停止後再び「運転」スイッチを押してシャワー及び給湯を使用する場合、停止前の設定温度が37℃～50℃のときはそのまま同じ温度が表示されますが、停止前の設定温度が60℃であったときは安全のため42℃に戻ります。

使用方法　自動運転…おふろの自動お湯はりをしたい

運転前の準備

1 排水栓を閉めます。
おふろを沸かす前に必ず排水栓を閉めます。

必ず行う

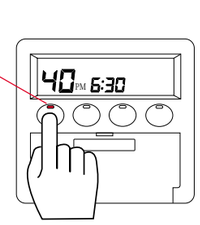


2 浴そうにふたをします。
この機器は浴そうにふたをしたままお湯はりができます。

排水栓はしっかりと

●浴そうの排水栓を閉め忘れて自動お湯はりした場合、お湯はり開始後約１時間経過すると自動的にお湯はりを停止します。

自動運転の使用方法



１．（運転）スイッチを押し運転入りにします。

●「運転ランプ」が点灯します。

２．（自動）スイッチを押します。

●「自動ランプ」が点灯し、「給湯燃焼ランプ」が点灯し、自動的にお湯はりが開始されます。

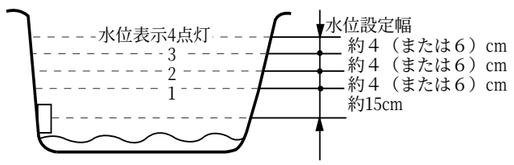
●給湯温度は、お湯はり温度に変わります。

３．［水位］スイッチでお湯はり水位を設定します。

※［水位］スイッチを押す毎に、水位 2→ 3→ 4→ 1→ 2 … と設定できます。

●希望の水位を1～4の 4段階まで選べます。
一度設定すれば記憶します。
（電源投入時または停電復帰後は、水位２となっています）

●水位の目安は、循環アダプタの中心から上方約15ｃｍから約 4cm (または 6cm) きざみの 4段階となっています。



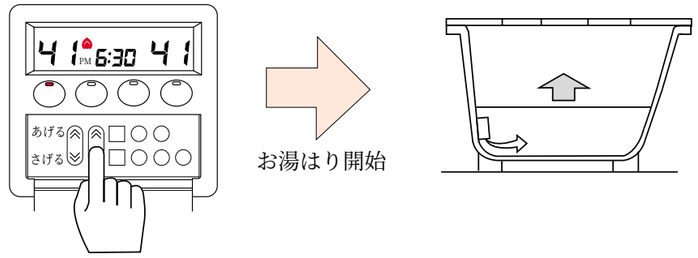
設定水位の目安

※水位設定の幅は、機器設置時に、ご使用になる浴そうサイズ（深さ）に合わせて、予め約 4cmまたは約 6cmきざみに設定されています。浴そうを交換される場合や、水位設定 4(最も高い)の水位でのお湯はりで、浴そうからお湯があふれたり、十分なお湯はり水位が得られない場合は水位設定幅の再設定が必要になることがあります。お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスにご相談ください。

４．ふろ温度設定スイッチでお好みのお湯はり温度に設定します。

●お湯はり温度は、目安ですが、約 37℃～48℃の範囲で１℃ずつ設定できます。
一度設定すれば記憶します。
（電源投入時または停電復帰後は、42℃となっています）

●「ふろ温度表示」と同時に、「給湯温度表示」も変わります。



５．沸き上がると自動でストップ。（ブザーでお知らせ）

●おふろの設定水位までお湯はりを完了すると、お湯が止まります。
この時、給湯温度は元の給湯設定温度に戻ります。

●お湯はりが終了すると、沸き上げ運転に入り、「ふろ燃焼ランプ」が点灯します。

●設定温度までの沸き上げが終了しますと、「保温ランプ」が点灯し、リモコンからブザーでお知らせします

６．自動保温・自動足し湯運転となります。

●（自動）スイッチを押してから、約４時間が経過すると「自動ランプ」が消灯し、自動運転を終了します。

※途中で、（運転）スイッチまたは（自動）スイッチを押すと、自動運転を停止します。

ふろ自動運転ご使用上の注意

●電源投入時または停電復帰後のふろ自動の温度は、42℃設定となっています。

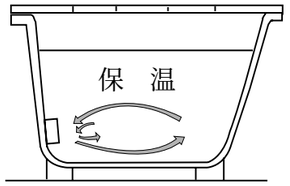
●浴そうに残り湯がある場合も（自動）スイッチを押すだけで、設定水位までお湯はりし、沸き上げます。

●自動運転中に（運転）（たし湯）（自動）（おいだき）（ぬるく）のスイッチを押すと、自動運転を終了します。

お湯の温度が下がったら、自動であたためます。

●保温中は約20分毎にポンプがまわり湯温を検知し、設定温度より湯温が下がっていると自動的に設定した温度までおいだきします。このとき、「ふろ燃焼ランプ」が点灯します。

●保温中にふろ自動の設定温度を変えると、その温度に沸き上げることができます。ただし、浴そうの湯温より低目に設定を変えても、浴そうの湯温はそのままです。この場合、一時的にポンプがまわり、燃焼することがありますが異常ではありません。

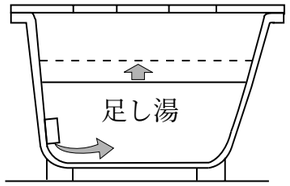


●自動保温機能は、（自動）スイッチを押してから約 4 時間作動します。

お湯が減れば自動で足し湯します。

●お湯の量が減ると（自動お湯はりが終了したときの水位から、約 3cm下がると）自動的に設定水位まで設定温度のお湯を足し湯します。このとき「給湯燃焼ランプ」が点灯します。給湯温度は、お湯はり温度が表示されますが、足し湯終了時は元の温度に戻ります。

●自動足し湯機能は、（自動）スイッチを押してから約 4時間作動します。



自動運転停止

自動運転を途中で止めたいときは、再度（自動）スイッチを押します。

●「自動ランプ」が消えます。

●「ふろ温度表示」が消えます。

●「給湯温度表示」が給湯使用時の温度にもどります。

⚠ 自動お湯はり中の給湯使用について

●自動お湯はり中、給湯栓を開ければお湯を使用することはできますが、給湯の温度はふろの温度と同じ温度になります。また冬季など入水温度が低い場合は表示の温度より低いことがあります。

●配管によっては、給湯栓からのお湯が出にくいことがあります。

使用方法　おいだき運転・・・おふろのおいだき・沸かし直しをしたい

運転前の準備

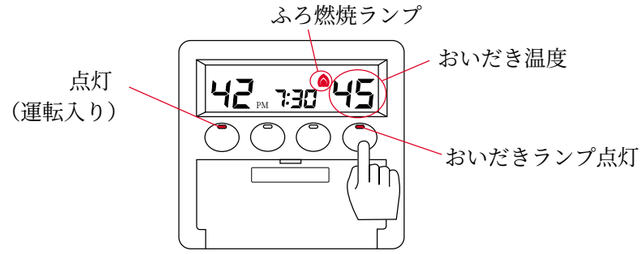
●循環アダプタのキャップが十分つかる程度（循環アダプタより約10cm 以上）のお湯（または水）がはってあるか確認してください。お湯（または水）が少ないとおいだき運転はできません。

使用方法

1．（運転）スイッチを入りにしてから（おいだき）　スイッチを押します。

●「おいだきランプ」、「おいだき温度表示」が点灯して、浴そう内のお湯（または水）が循環しはじめます。

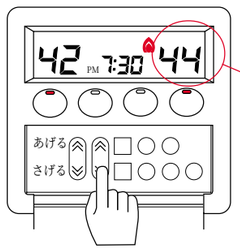
●しばらくして「ふろ燃焼ランプ」が点灯し、ふろのおいだきを始めます。



2．「ふろ温度設定」スイッチで、おいだき温度を設定します。

●おいだき温度は、目安ですが37℃～48℃の範囲で1℃ずつ設定できます。また、自動運転による沸き上げ温度と違う温度に記憶できます。（一度設定すると、記憶します。）

（お買い上げいただいた時又は停電復帰後は、42℃設定となっています。）



（例、45℃ → 44℃）

おいだき温度

3．沸き上がると、自動でストップ。

●「ふろ燃焼ランプ」、「ふろ温度表示」が消灯し、約 30秒後にお湯の循環が止まります。途中でおいだきを止めたいときは、再度（おいだき）スイッチを押します。

※おいだき中に（運転）（自動）（たし湯）（ぬるく）のスイッチを押すと、おいだき運転を終了します。

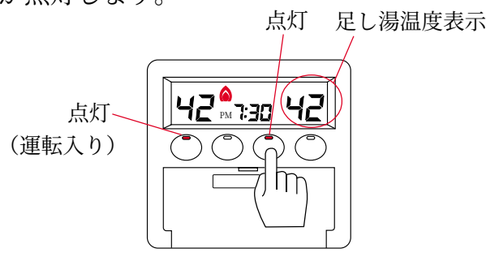
おふろ沸かしは、浴そうに水を張ってから沸かすと時間がかかります。浴そうが空の状態からおふろ沸かしをする場合は、「自動運転」をおすすめします。

使用方法　足し湯運転・・・おふろのお湯の量を増やしたい

使用方法

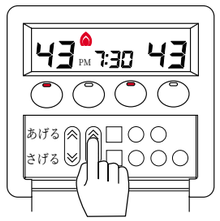
1．運転 スイッチを入りにしてからたし湯　スイッチを押します。

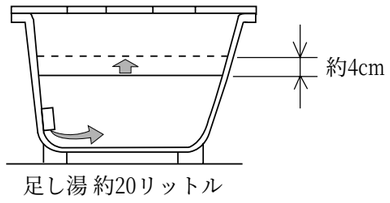
●「足し湯ランプ」、「足し湯温度表示」が点灯します。
●浴そうの循環アダプタから、お湯が出て「給湯燃焼ランプ」が点灯します。
●約 20リットルの足し湯（注湯）を行います。



2．足し湯温度を変更できます。

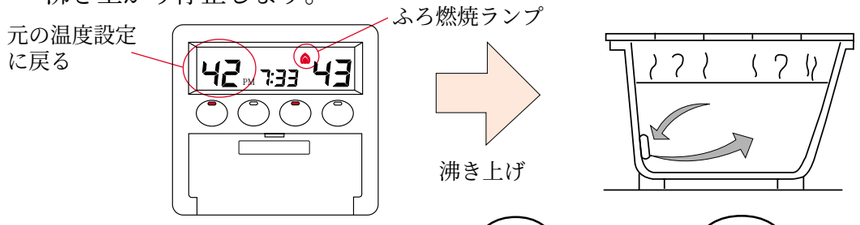
●ふろ温度設定スイッチで、足し湯温度が変更できます。
●給湯温度は、足し湯温度に変わります。　（例、42℃→43℃）





3．足し湯温度に沸き上げます。

●約20リットルの注湯が終了すると、給湯温度が元の温度設定に戻ります。
●「ふろ燃焼ランプ」が点灯し、足し湯の設定温度まで、おいだきし、沸き上がり停止します。



●途中で足し湯運転を止めたいときは、運転 または再度 たし湯 スイッチを押します。

⚠ たし湯運転ご使用上の注意点

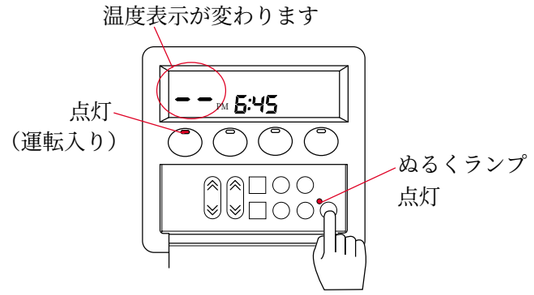
●足し湯温度は、記憶されません。次回の足し湯運転開始時の足し湯温度は、ふろ自動の温度になります。
●足し湯中に台所やシャワーなどで給湯を使用すると、その分だけ、足し湯量が減少します。
●足し湯中に台所やシャワーなどで給湯を使用すると、給湯温度は、足し湯温度になります。
●足し湯中に 運転 たし湯 自動 おいだき ぬるく のスイッチを押すと、足し湯運転を終了します。

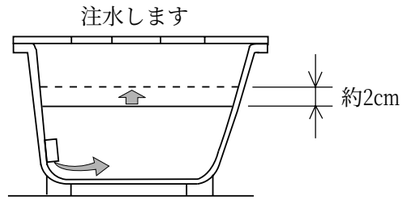
使用方法　ぬるく運転・・・おふろのお湯を少しぬるくしたい

使用方法

1．運転 スイッチを入りにしてぬるく　スイッチを押します。

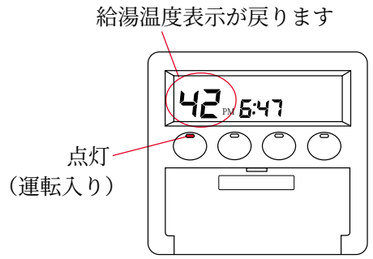
●「ぬるくランプ」点灯し、「給湯温度表示」が、「－－」に変わります。
●浴そうの循環アダプタから、水が出てきます。
●約 10リットルの足し水（注水）を行います。





2．ぬるく運転終了後は、通常の給湯運転に戻ります。

●「ぬるくランプ」消灯し、「給湯温度表示」が、復帰します。
（ぬるく運転前の給湯温度が60℃設定の場合、安全のため50℃設定になります。）
●約 20秒間ポンプ循環し、浴そう水を かくはん します。



●途中でぬるく運転を止めたいときは、運転 または ぬるく スイッチを押します。

⚠ ぬるく運転ご使用上の注意点

●ぬるく運転中は、台所やシャワーなどで給湯栓を開けてもお湯は出ません。水になります。
●注水は、給水をそのまま使用します。給水温度が高い場合、浴そう湯温が下がりにくくなります。
●ぬるく運転中に台所やシャワーなどで給湯栓を開けると、その分だけ、注水量が減少します。
●ぬるく運転中に 運転 ぬるく 自動 たし湯 おいだき のスイッチを押すと、ぬるく運転を終了します。
●浴そう水が少ない場合、ぬるく運転は、動作しません。

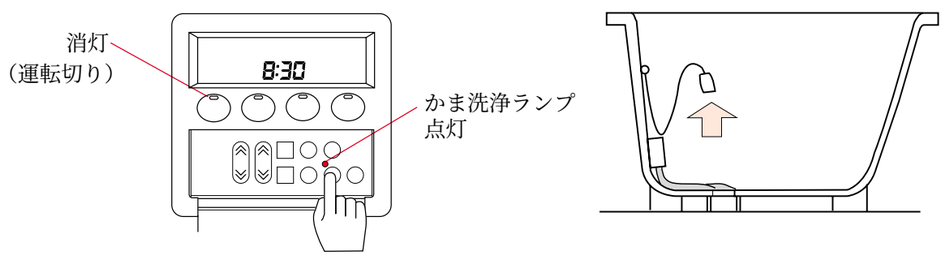
使用方法　かま洗浄運転・・・ふろ釜内の残り湯を排出したい

使用方法

1．浴そうの排水栓を抜いて、浴そう内の水を排水します。

2．（運転）を切りにしてから（かま洗浄）スイッチを押します。

- 「かま洗浄ランプ」が点灯します。
- しばらくして、浴そうの循環アダプタから、水が出てきます。
- 約 20秒間、ふろ釜内の残り湯をきれいな水で、押し流します。



3．ふろ釜内の水を排出して終了します。

- 「かま洗浄ランプ」が消灯し、注水が完了すると、約 20秒間循環用ポンプが作動して、ふろ釜内の残水を排出します。

「かしこい」おふろ掃除の手順・・・

1．おふろの排水栓を抜いて、浴そうを空にします。
2．（かま洗浄）スイッチを押し、ふろ釜内に残った浴そう水を排出します。
3．浴そうのお掃除をはじめます。
4．浴そうの排水栓を閉めます。

⚠ かま洗浄運転ご使用上の注意点

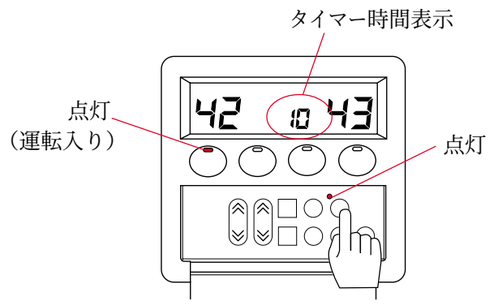
- かま洗浄運転は、（運転）スイッチが切りでないと作動しません。
- かま洗浄運転は、ふろ釜内の残り湯をきれいな水で押し流し排出する機能です。こびり付いた湯あかなどは洗浄できません。
- かま洗浄運転時は、台所やシャワーなどの給湯栓は閉めてください。充分な排出ができないことがあります。
- かま洗浄運転中に、（かま洗浄）（運 転）スイッチを押すと、かま洗浄運転を終了します。
- 浴そう水が残っている場合、かま洗浄運転は、動作しません。
- 使用水圧の違いにより、「かま洗浄ランプ」が消灯してから注水が完了するまでに時間がかかる場合があります。

使用方法　タイマー機能・・・時間を計りたい

使用方法

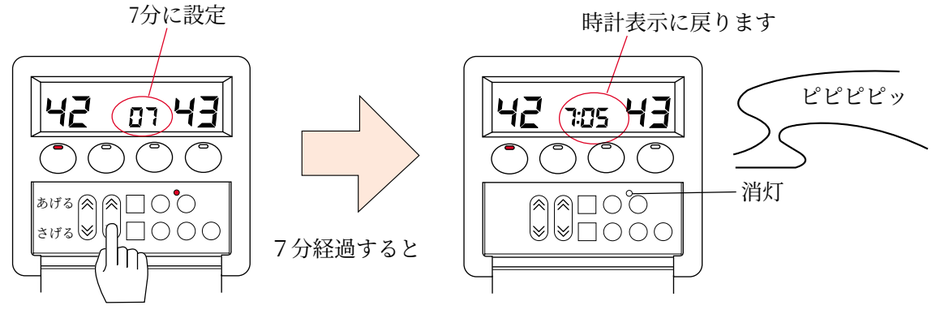
1．（運転）スイッチを入りにして、（タイマー）スイッチを押します。

- 「タイマーランプ」が点灯します。
- 同時に、「タイマー時間」が表示されます。
  （電源投入時、または停電復帰時は、10分設定となっています。）



2．「ふろ・時刻」設定スイッチにて、時間設定します。

- タイマーの時間は、１分～60分の範囲で、１分ずつ設定できます。
  （設定した時間は、次回に記憶されます。）
- 残り時間を表示し、設定した時間が経過すると、時計表示に戻り、リモコンからブザーでお知らせします。



⚠ タイマー機能ご使用上の注意点

- タイマー動作中に、設定時間を変更すると、変更された時間に再セットされます。
- タイマー動作中に、（自動）スイッチを入りにすると、タイマーは解除されます。
- タイマー動作中に、自動お湯はり水位の設定操作をすると、タイマーは解除されます。
- タイマー動作中に、（運転）または（タイマー）スイッチを押すと、タイマーを解除します。
- タイマー動作中に、ふろ温度は変更できません。

使用方法 自動運転予約…予約した時刻におふろを沸かしたい

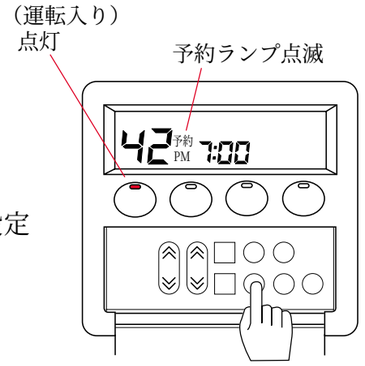
運転前の準備

1 排水栓を閉めます。
おふろを沸かす前に必ず排水栓を閉めます。

必ず行う

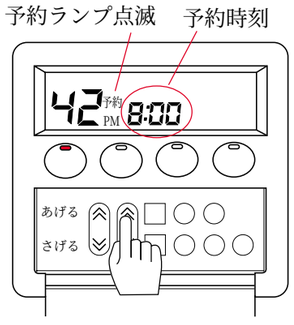
2 浴そうにふたをします。
この機器は浴そうにふたをしたままお湯はりができます。

予約時刻設定



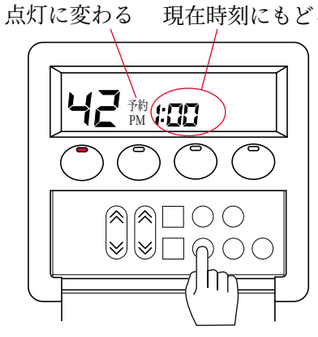
1．(運転) スイッチ入りにしてから、(予約) スイッチを押します。

●「予約ランプ」が、点滅し、時計表示に現在設定されている予約時刻が表示されます。
（電源投入時、または停電復帰時は、「PM7：00」表示になっています。）



2．「ふろ・時刻」設定スイッチを押し、予約時刻（入浴したい時刻）を設定します。

●押す度に、１分ずつ変わります。
●押し続けると、10分ずつ早送りできます。
（例、PM８時に予約）

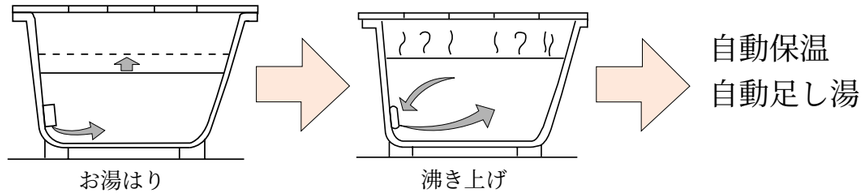


3．もう一度、(予約) スイッチを押します。

●点滅が、点灯表示に変わり、少しして、時計表示に戻ります。現在時刻が、あっているか、確認してください。
●自動運転予約待機となり、予約した時刻におふろが沸きます。

予約運転の開始

●予約した時刻の 約30分前になると、「自動ランプ」が点灯し、お湯はりを開始します。
（現在時刻から、30分以内に予約時刻を設定した場合、予約設定終了と同時に、自動お湯はりを開始します。）
●自動お湯はりが終了し、ふろ設定温度まで沸き上げると、ブザーにてお知らせします。
●予約時刻の30分前から約４時間は、自動足し湯・自動保温運転を続けます。



予約自動運転ご使用上の注意点

●現在時刻の設定がされていないと「自動運転予約」機能は動作しません。（12ページ参照）
●自動運転予約待機中に、予約解除するときは、(予約) スイッチを押してください。
●自動運転予約待機中に、リモコン操作で、(運転) 切り、または (自動) (たし湯) (おいだき) (ぬるく) のいずれかのスイッチを押すと、予約は解除されます。
●自動運転予約時の、お湯はり水位・温度は、自動運転時の水位・ふろ温度になります。変更する場合は、一旦、(自動) を入りにし、水位・ふろ温度を変更し、(自動) を切りにした後、自動運転予約の設定を行ってください。
●沸き上がりブザーは、予約時刻にかかわらず、沸き上げ完了時に報知します。
●浴そうに、前日の残り湯が残っている場合（水からの沸き上げ）、予約した時刻までに沸き上がらないことがあります。
●自動運転予約待機中に停電すると、停電復帰後、予約は解除されます。

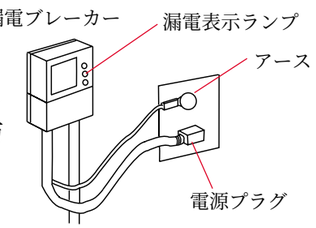
機器内部の凍結予防方法

凍結予防

冬期は寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結がおこることがあります。
冷え込みが激しいときは、次のいずれかの方法で予防処置をとってください。

1．通常の寒さのときの凍結予防ヒーターによる予防方法

●電源プラグをコンセントに入れた状態にします。抜けていると作動しませんので、注意してください。



●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していないことを確認してください。点灯している場合は凍結予防ヒーターが作動しません。漏電している可能性もありますのでリセットボタンを押して確認してください。（29ページ参照）

●この機器は気温が下がってくると自動的に機器内を保温し凍結を予防するヒーターが組込まれています。通常は、電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば機器内の凍結は予防できます。

●凍結予防ヒーターは、リモコンのスイッチ操作に関係なく働きます。

⚠ 凍結予防に関する注意点

●ヒーターで凍結を予防できる気温の条件は、無風時－15℃まで、有風（4m／秒）時－10 ℃までです。気温がこれ以下になる時は、通水による方法や水抜き処置によって、凍結予防をしてください。

●ヒーターは、機器内の保温はしますが、配管やバルブ類の凍結予防はできません。配管には保温材を巻いて凍結予防をしてください。

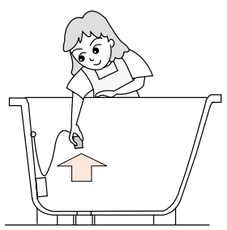
●この機器は外気温が－１５℃以下になる場合には凍結予防のために水抜き処置が必要です。（33ページ参照）

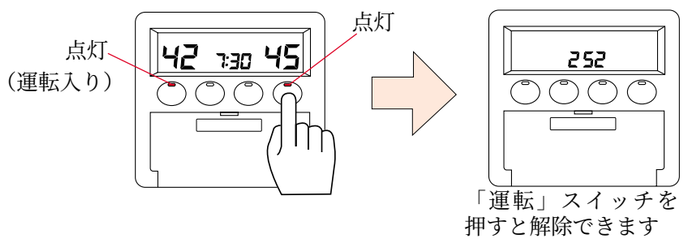
2．冷え込みの厳しいときの予防方法

■おいだき側（ポンプの水抜き方法）

●浴そうの水をぬきます。

● 運転 スイッチを入りにして、おいだき スイッチを押し、252 エラーコードが表示されるまで待ちます。このときポンプの音が大きくなりますが、ふろ循環ホース内の水を排水していますので異常ではありません。





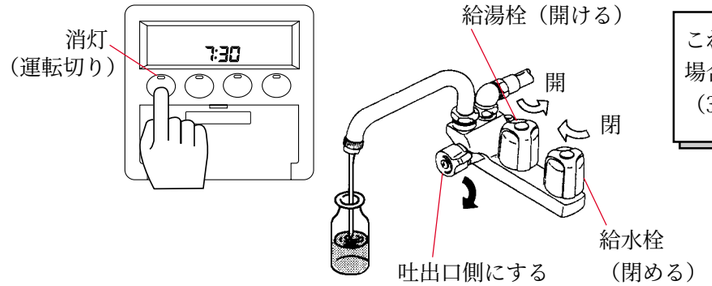
■給湯側（通水による方法）

（１）リモコンの 運転 スイッチを切りにします。

●「運転ランプ」が消灯します。

（２）ガス栓を閉めます。

（３）おふろ場の給湯栓を開けて、1分間に400cc（牛乳びん２本分）ぐらいの水を浴そうに流し込みます。（流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。）



これらの処置をしても凍結する恐れがある場合は、水抜きを行なってください。
（33ページ（長期間使用しない場合）参照）

※　最後に電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 凍結したときは

●凍結により、給湯栓・シャワー・循環アダプタから水が出ないときは、使用しないでください。

●凍結したままで使用しますと、機器に異常が生じ危険です。

●再度使用する場合は、ガス元栓、シャワーまたは給湯栓を閉め、解凍するのを待ちます。解凍して、通水したあと、本体や配管から水漏れがないことを確かめてからご使用ください。

●凍結により、機器が破損した場合、高額の修理費用がかかります。（有料）

●万一、機器や配管から水漏れするなどの異常がある場合は、ガス元栓、給水元栓を閉め、また、浴そうの排水栓を抜いてからお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスまでご連絡ください。

⚠ 再使用する場合の注意

●再度使用する場合は、シャワーまたは給湯栓が閉まっていることを確認してください。また、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

点検・お手入れ

機器を安全に、快適にお使いいただくために・・・

高温注意

●お手入れの前には、ガス栓・給水元栓を閉め、機器が冷えてから行なってください。
機器使用中および使用終了直後は、排気口や本体が高温になっていますので、やけどする恐れがあります。

分解禁止

●機器やリモコンは、絶対に分解しないでください。
故障の原因になります。

点検のポイント

●機器の上やまわりに燃えやすいものがありませんか。
●給気口・排気口が布などでふさがっていませんか。
●機器や配管から水漏れしているような様子はありませんか。
●ガスのにおいはしませんか。
●運転中に機器から異常音が聞こえませんか。
●機器の外観に異常は見られませんか。
●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。

お手入れ時の注意

●機器外観やリモコンの表面の汚れがひどくておそうじされる時は、布またはスポンジに台所用洗剤（中性洗剤）をつけてふきとったあと、からぶきします。
●ミガキ粉やタワシなど固いものでこすらないでください。
傷がついて、塗装がはがれたり腐食の原因になります。
●シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しないでください。
前カバー、リモコン等は変色、変形、塗装のはがれの恐れがあります。
●リモコンケースには故意に湯水や洗剤をかけないでください。
リモコンの故障の原因になります。
●循環アダプタのお手入れには、塩素系洗剤は使用しないでください。
変色、変形の恐れがあります。
●浴そう、洗面台はこまめに掃除してください。
湯あかが残っていると、銅イオンと化合して青く変色することがあります。

■漏電ブレーカーの点検

●漏電ブレーカーが正しく作動することを確かめるため、次の操作を行なってください。

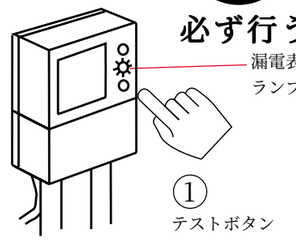
① テストボタンを押します。　→漏電表示ランプが点灯します。
② リセットボタンを押します。→漏電表示ランプが消灯します。

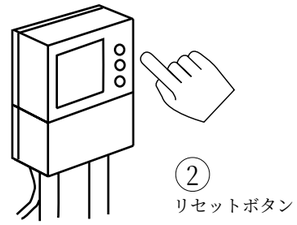
●月に１回以上の作動確認を行なってください。

※正しく作動しないときは、機器の使用を止め、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
※点検の前に漏電表示ランプが点灯しているときは、リセットボタンを押してください。
再び漏電表示ランプが点灯するようでしたら電源プラグを抜き、お買い求めの販売店またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。
※作動確認後は設定していた温度と水位が初期値になります。

・給湯温度　42℃　　・お湯はり水位　水位2　　・タイマー　10 分
・おいだき温度　42℃　・自動運転予約時刻　PM 7 : 00
・自動温度　42℃　　・現在時刻　－：－－
※時刻設定は 12ページを参照してください。

必ず行う





■循環アダプタのお手入れ

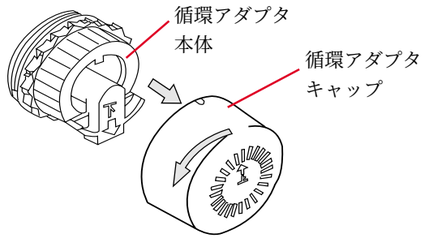
●循環アダプタの汚れや詰まりのお掃除は、循環アダプタキャップを取外して水で洗います。
●月に１回以上、掃除してください。循環アダプタが詰ったまま使用しますと故障の原因になります。

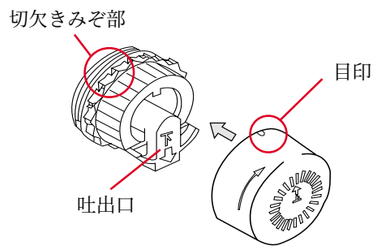
必ず行う

① 循環アダプタキャップを左へ少し回してから引き外します。

② 循環アダプタキャップを水洗いします

③ 循環アダプタのキャップを上マークが上になるように差し込み、右へ少し回して取付けます。





吐出口は、図に示すように必ず下向きにしてください

※循環アダプタのキャップの取り付けは、上マークが上になるようにし、キャップの目印の裏にあるツメが循環アダプタ本体のほぼ真上にあたる切欠き部のみぞに合うように差し込み、右へ少し回して止めます。

故障かな？と思ったら…

次のことをお調べください

現　　象	お調べいただきたいこと
リモコンのスイッチを押しても表示ランプが点灯しない	●電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。 ●漏電ブレーカーの漏電表示ランプが点灯していませんか。（29ページ） ●停電していませんか。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給水元栓が全開になっていますか。 ●断水ではありませんか。 ●リモコンの「運転」スイッチを押しましたか。 ●凍結していませんか。（26,27ページ）
あついお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が低くなっていませんか。 ●ガス元栓が全開になっていますか。 ●給湯またはシャワーを２ケ所で同時使用されていませんか。
ぬるいお湯が出ない	●リモコンの給湯温度設定が高くなっていませんか。 ●水量を絞りすぎていませんか。（夏） ●給水元栓が全開になっていますか。
おいだきができない	●浴そうの水（湯）が循環アダプタより上に（循環アダプタ上部より約10cm以上）ありますか。 ●呼び水をしましたか。（11ページ）
おいだきがすぐ消火してしまう	●ふろおいだき温度設定が低くなっていませんか。 ●循環アダプタのキャップがはずれていませんか。(29ページ) ●循環アダプタのキャップの向きは、正しいですか。(29ページ)
浴そうの上下の温度差が大きい	●循環アダプタのキャップの向きは正しいですか。(29ページ) ●循環アダプタのキャップが目詰りしていませんか。(29ページ)
設定した温度、時刻などが記憶されていない	●停電が起きていませんか。 ※１秒以上の停電が発生した場合、設定していた温度時刻、水位が初期値になります。(29ページ)

エラーコードの表示をお調べください

表　示	故障と思われる範囲または原因	処　　置
１１１ １２１ １１２ １２２	給湯不着火 給湯使用時、途中消火（失火） ふろ不着火 ふろ使用時、途中消火（失火）	ガス元栓の全開を確認し、エラーコードの点滅を解除します。再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは修理依頼してください。
１４０ １４０	残火安全装置作動 過熱防止装置作動	安全装置の作動または故障が考えられます。 エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
２５２	ふろ循環系統の故障または異常	浴そうの循環アダプタキャップが十分につかるまで水（湯）がはってあることを確認してください。エラーコードの点滅を解除し、再度機器の運転を行ってください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
１０１	ファンほこりづまり警告	お湯を使用することはできますが、十分な給湯能力が出ない状態ですので、すぐにお買い求めの販売店に連絡してください。
９９１	ファンほこりづまり異常	給湯、自動が使用できない状態ですので、すぐにお買い求めの販売店に連絡してください。

⚠ リモコン表示ランプが点滅しているときは

●この機器は機器の故障または異常を検知すると、リモコンの時計表示部にエラーコードを点滅表示します。（上表で確認してください。）
●エラーコードの点滅解除は、(運転)スイッチを押します。
●機器を再運転しても表中のエラーコードが何度も表示される場合や、表中以外のエラーコード
（511，512，311，331，322，432，721，722，611，310，700，710など）
が表示される場合は、ご自分で修理なさらないで、お求めの販売店か、もよりの大阪ガスへご連絡ください。
●使用途中でリモコンのランプが点灯しなくなった場合、マイコンの安全装置または漏電ブレーカーの作動が考えられますので、29ページの要領で漏電ブレーカーの作動確認をしてください。

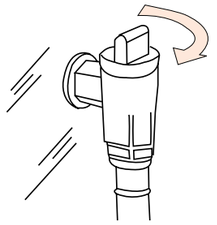
次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理由
給湯栓を開いてもすぐにお湯が出てこない。	機器から給湯栓までは距離がありますのでお湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
お湯の出を止めてもしばらく音がする。	消火後７分間は燃焼ファンを回転させて、燃焼ガスを排出します。
おいだきが終了してもしばらく音がする。	消火後30秒間はポンプを回転させておふろのお湯をかくはんしています。
寒い日に排気口から白い湯気がでる。	寒さで排気の中の水蒸気が白く見える現象で異常ではありません。
高温出湯にすると、お湯が白くなる。	水には空気が含まれていて加熱されると気泡となって現われるためのものです。異常ではありません。
ふろ自動お湯はりまたは、おいだきを始めると循環アダプタからポコポコ音がして泡が出る。	おいだき配管の中にたまっていた空気が押し出されるためのもので、しばらくすると出なくなります。
排水ホースから少量のお湯が出る。	この機器は、逆止弁構造（浴そう内のお湯が給水側へ逆流しない構造）をもった大気開放弁が内蔵されています。 ●使い始めと使い終りに少量のお湯が出ますが異常ではありません。 ●給水圧が低い場所で同時使用した場合、浴そうへのお湯はり量が少なくなり、少しだけ機外へも、お湯を排水しますが異常ではありません。 ●大気開放弁内に空気が残留している場合、配管内の圧力が急激に上昇すると大気開放弁から少しだけ機外へ水を排水しますが異常ではありません。数回自動運転を行ない大気開放弁にお湯を通して空気を抜きますと排水はなくなります。
給湯栓を絞りすぎて水（熱い湯）になった。	シャワーまたは給湯栓を絞りすぎる（約 2ℓ/分以下）と消火します。また、熱いお湯が出たり、消火したり、を繰り返すことがあります。
ぬるいお湯が出ない。	夏期水温が30℃近くなりますと、低温にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。このような場合には、給湯栓をさらに開けて湯量を多く出すか、専用混合水栓の給水栓を開けて湯と水を混ぜて使用してください。
ふろ自動お湯張り中に、配管から音がする。循環アダプタから白いお湯が出る。	ふろ自動お湯張り中に、お湯張り量を絞り器具の異常を診断しているため、水圧が高い場合など配管から音がします。また、水量を絞っているため、お湯が白くなる場合があります。

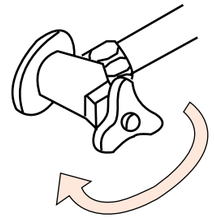
長期間使用しない場合

●長期間使用しない場合は次の操作をしてください。

１．ガスの元栓を閉じる。



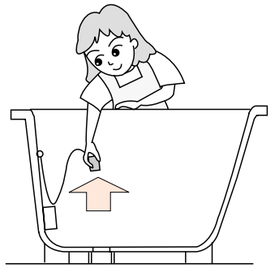
２．給水元栓を閉じる。



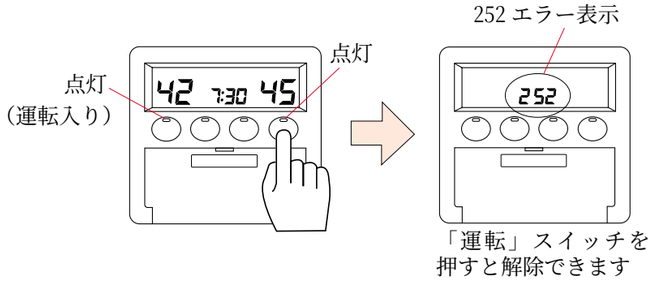
３．機器の水抜きを行う。

※水抜きの手順

(1) 給水、給湯配管に水抜栓がある場合は、水抜栓を外す。
(2) 配管内の水が抜けたら、元通りにする。
(3) 浴そうの水を排水する。

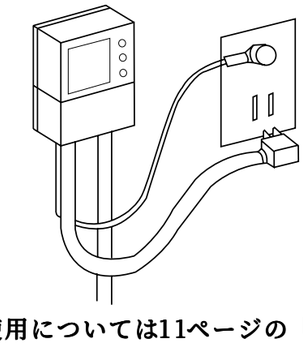


(4) 運転 スイッチ入りにして、おいだき スイッチを押し、252 のエラーコードが表示されるまで運転してください。



※ このときポンプの音が大きくなりますが、ふろ循環ホース内の水を排水していますので、異常ではありません。

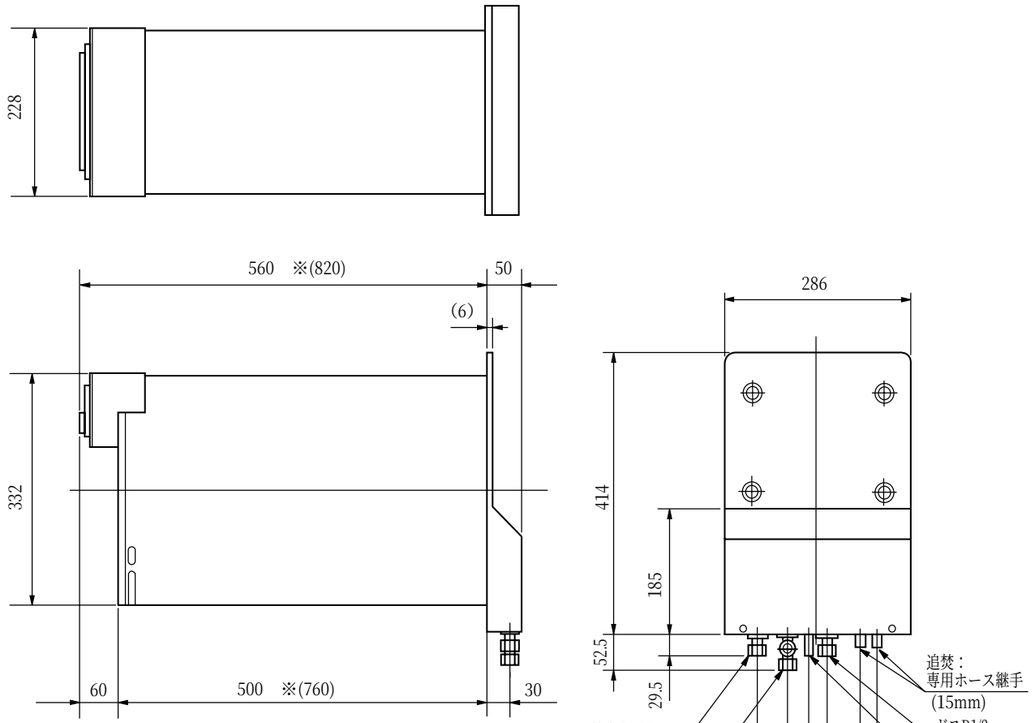
４．電源プラグをコンセントから抜く。



●再使用については11ページの「初めてお使いいただくときは」にしたがってください。

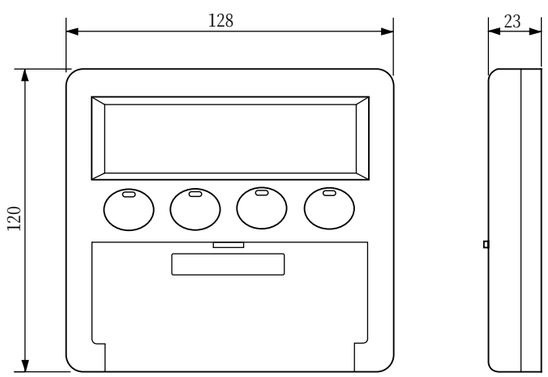
寸　法　図

■本　体　（この図は131-7079です）



※は、131-7089型の寸法です。

■リモコン



仕　　様

■ 仕様表

項　　目			仕　　様
外形寸法（本体）			幅286×高さ467×奥行610mm
			幅286×高さ467×奥行870mm　※1
壁貫通部寸法			幅228×高さ332×奥行560mm
			幅228×高さ332×奥行820mm　※1
質量（本体）			25 kg　30 kg ※1
接続寸法	ガス		R1/2（TU接続）
	給水・給湯		G1/2B
	ふろ循環		15 mm循環ホース継手
標準ガス消費量 kW	ガス質		13A
	給湯	最大	34.9（30,000kcal/h）
		最小	5.8（5,000kcal/h）
	ふろ		9.9（8,500kcal/h）
	同時（最大）		43.0（37,000kcal/h）
電気定格	電源		AC100V（50 / 60Hz）
	消費電力		使用最大　130 / 140 W　120 / 130 W ※1
	凍結予防用ﾋｰﾀ		64 W
最低作動水圧			19.6 kPa（0.2kgf/ ㎠）
使用水圧			53.9（動水圧）～784kPa（0.55～8kgf/ ㎠）
制御システム	給湯		フィードフォワード＋フィードバック式ガス比例制御
	ふろ		温度設定沸上げ（37～48℃）、（給湯比例制御追従式）
	ファン制御		DCファンによる回転数制御
排気温度			260℃以下
安全装置			・立消え安全装置　・過熱防止装置　・ファン回転検知 ・沸騰防止装置　・漏電ブレーカー　・過圧逃し弁 ・残火安全装置　・凍結予防用ヒーター

※1は131-7089型の寸法、重量、消費電力です。

■　出湯能力　　＊印は換算相当出湯能力を示す。

ガス種	標準号数（号）		温度上昇と標準出湯量（ℓ／分）				
			水温＋15℃	水温＋25℃	水温＋30℃	水温＋40℃	水温＋50℃
13A	能力大	16	＊26.7	＊16.0	13.3	10.0	8.0
	能力小	2.5	4.1	2.5	—	—	—

上記数値は計算値です。

アフターサービスについて

■アフターサービスのお申し込み

サービス（点検・修理）を依頼される前に
「故障かな？と思ったら」の項を見て、もう一度ご確認ください。それでも不具合がある場合は、
ご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスへご連絡ください。

●ご連絡の際には次のことをお知らせください。
1．品　名・・・・・・・・ガスふろ給湯器パックイン
2．大阪ガス商品コード・・・器具の全面右上部に貼付してあります
3．故障、異常の現象、エラーコード・・・できるだけ詳しく
4．お客様名、住所、電話番号、道順

例）

（N）１３１-７０７９
大阪ガス株式会社

■転居される場合

●ガスの種類の異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要になりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
この場合、調整・改造に要する費用は、保証期間内でも有料になります。ただし、ガスの種類や電源の周波数によっては調整できない場合もあります。

■保証・補修について

●保証期間中の故障修理について
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、
この取扱説明書とともに大切に保管してください。

●保証期間経過後の故障修理について
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。
この製品の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、
製造打切後１０年間です。
ただし、当製品製造打切後１０年経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、
有料修理いたします。

メモ欄として活用してください。